

地域の声を聞く会（令和5年12月15日）

12月15日（金）、「地域の声を聞く会」を開催しました。当日は、近隣の中学校長、学校評議員、PTA役員、同窓会役員の皆様からご出席いただき、本校の教育活動に対して貴重なご意見を伺うことができました。誠にありがとうございました。平成30年に告示された高等学校学習指導要領の改訂のポイントに「社会に開かれた教育課程」があります。「社会に開かれた教育課程」とは、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有する」、「これからの社会を創り出していく子どもたちに必要な資質・能力が何かを明らかにし、それを学校教育で育成する」、「社会と連携・協働しながら目指すべき学校教育を実現する」というものです。

当日は「校長の学校運営の途中経過」、「保護者、生徒の学校アンケートの結果」「いじめの認知やその対応」、「本校の生徒指導上の課題」、「本校の進路状況」等について説明した後、意見をうかがいました。

出席者からは「有恒高校の校訓である三綱領五学規の精神をどれくらい生徒に伝えているのか。」「地元中学生が少なくなっている中で、地域に関わる取組にどのように関わられるか考えてほしい。」「中学校と高校で一緒にできる取組、例えばあいさつ運動などを一緒に取り組めないか」など、貴重なご意見をいただくことができました。今後、いただいたご意見を参考に、学校運営の改善に役立てていきたいと考えております。

